

メディアリテラシーを身に付け、自分の意見を豊かに表現できる生徒の育成

～新聞を読んだり書いたりする NIE の実践を通して～ 日之影町立日之影中学校

教諭 片山弘喜

1 テーマの設定について

インターネットの普及により、近年、新聞の購読者が減少していると報道されている。そのことは、学校においても例外ではなく、新聞購読をしていない家庭の増加や、新聞を読まない生徒が多くなっていることも事実である。

確かに、インターネットは便利であり、得たい情報が即座に手に入る。さらに、新聞とは比較にならない情報量である。しかしながら、その全てが十分な信憑性をもっているとはいえない。

生徒はメディアからもたらされる情報を鵜呑みにしがちである。特にテレビやインターネットからの情報を無抵抗に受け入れてしまう傾向がある。そこで、「新聞」というメディアを使い、その情報を受け止め、読みこなし、さらに自主的な判断を加えて意見を述べる必要があると考えた。今年度の実践テーマは昨年度と同様である。本校では、主に第3学年の生徒を対象に NIE を進めてきた。昨年度の取組をさらに発展させ、新聞を用いて授業や活動を行うことにより、新聞に興味をもたせ、その授業や活動でメディアリテラシーや表現力を高めたいと考えた。

2 本校の概要

本校は全校生徒113名の小規模校である。これまで、町内に4校あった中学校が本校に統合され3年が過ぎた。2年目の NIE 実践校である。実践校になる以前は学校独自の新聞購読はしていなかった。

NIE 実践校による新聞購読に関しては6月から始め、年度末まで購読できるように以下の通りに新聞の配達を依頼した。

○ 読売新聞 6～7、9～10月

○ 日本経済新聞 6～7、9～10月

○ 毎日新聞 9～12月

○ 西日本新聞 9～12月

○ 朝日新聞 12～3月

○ 宮崎日日新聞 12～3月

3 実践内容

生徒のメディアリテラシーや表現力を高めるために、生徒の新聞に対する興味を高め、新聞を読むことと新聞を活用して表現することを中心に、以下の実践に取り組んだ。

(1) NIE コーナーの設置

(2) 複数の新聞記事を読み意見を述べる授業

(3) コラムの要約と感想を書く活動

(4) 新聞記事を用いた1分間スピーチ

(5) 新聞作成の活動

(6) NIE 推進協議会を活用した講演

(1) NIE コーナーの設置

NIE コーナーは、昨年度と同様の多くの生徒が通る廊下に設置した。NIE コーナーには NIE 特集記事や新聞関係の作品に関するポスターなどを掲示した。また、校長室の前には、本校の校長が自ら日之影町に関わる新聞記事のスクラップを掲示した。(写真1) NIE コーナーに新聞を運ぶ担当は決めていなかったが、他の職員が協力してくれるようになった。2年目の NIE 実践となったことで、「学校に新聞がある」ことが生徒だけでなく教師にも意識されるようになってきている。

また、NIE コーナーに過去の新聞を約2ヶ月保管した。



(写真1：校長室前のスクラップ掲示)

(2) 複数の新聞記事を読み意見を述べる授業

① 授業の概要

昨年度の実践を生かし、複数の新聞記事を用いて意見を述べる活動を取り入れた授業を行った。この授業は学級活動で行った。NIE 推進協議会に依頼し、ETC 割引制度に関する記事を取り寄せた。授業の様子は宮崎日日新聞の6月18日(木)付けのNIE 特集記事として掲載された。授業の流れは次の通りである。

ア 導入

- ・興味をもっているニュースを発表し合う。

イ 展開

- ・ETC 割引制度の概要説明
- ・新聞記事の紹介
- ・記事を読む
- ・自分の意見を書く
- ・グループやペアで意見を述べ合う。

ウ まとめ

- ・全体に意見を発表する

② 授業を振り返って

生徒は、1本の記事を読み意見を述べる活動には慣れているが、複数の記事を読み比べながら意見をまとめることは難しかったようである。意見を書く時間が多く必要で、1時間で行うには少々無理があったようである。しかし、

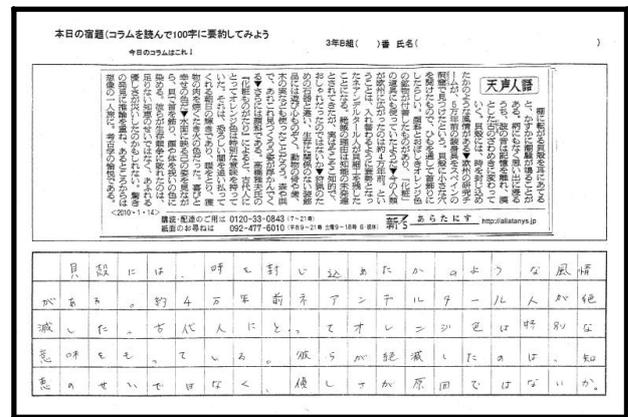
生徒からは様々な意見が出され、中にはユニークなものもあり、意見交換が活発に行われた。

今後、この活動を発展させ、2～3つほどの違った論点の記事をもとに考えを述べさせたり書かせたりする活動を多く行いたい。

(3) コラムを要約する活動

① 活動の概要

この活動は昨年度から続けて行ったものである。(資料1)今年度は朝自習の時間を使うことができなかつたため、ほとんどを課題として取り組ませた。



(資料1：使用したワークシート)

② 活動を振り返って

昨年度から継続して行った活動であったということもあり、課題として取り組ませてもほとんどの生徒が積極的に取り組んだ。また、点数化して評価すると、取り組む意欲が高まり、内容も充実した。

(4) 新聞記事を用いた1分間スピーチ

① 実践の概要

コラムの要約とその感想を書くことがスムーズにできるようになってきたため、新聞記事を用いた1分間スピーチを行った。スピーチの原稿は学級活動の授業で作成させ、スピーチ活動は帰りの会で行った。スピーチの原稿の前半は記事の要約、後半は自分の意見を書くように指導した。また、活動を「1分間スピーチコンテ

スト」として、他の生徒に声の大きさやスピーチの内容を評価させた。

② 実践を振り返って

学級の生徒が18名であるため、全員の1分間スピーチを行うには約1ヶ月必要であった。その間の社会情勢の変化で、スピーチに用いた記事が古くなり、時事問題の共有化はできなかつたところもあるが、「そういえば、そんな出来事もあった」と過去を振り返りながら、スピーチの感想を述べる生徒もいた。

(5) 新聞作成の活動

① 活動の概要

昨年度は、高校調べのまとめとして新聞作成に取り組んだ。今年度はよりレベルの高い新聞を作成させたいと考え、校内文化祭での新聞発行を計画した。(写真2)総合的な学習の時間が十分に確保されており新聞作成の時間があり、より多くの人に生徒自身が作成した新聞を読んでもらうことができるため、文化祭での発行を目標とした。

新聞作成は次の手順で行った。ほとんどの活動は総合的な学習の時間を用いたが、取材においては放課後や週末の生徒各自の活動とした。

ア 新聞作成グループの結成

イ 取材班編制と新聞のテーマ検討

ウ 取材内容の検討

エ 取材(約1週間)

オ 記事の作成

カ 見出しと新聞レイアウト検討

キ 記者による新聞の授業

ク 新聞の完成、発行

昨年度の新聞作成においては、フリーソフトの「朝刊太郎」を用いたが、写真をはっきりと印刷することができなかつたため、今回は「パーソナル編集長 ver.8」(クレオ、定価17,600円)を用いた。なお、生徒の記事の作成

ではテキスト形式で保存させ、それをもとに教師がレイアウトの操作をした。また、新聞をある程度終えた段階で、NIE推進協議会に講師派遣を依頼した。



(写真3：講師派遣授業の様子)

② 実践を振り返って

生徒は、新聞作成にかなりの時間と労力が必要であると思っていた。しかし、語数は150字～200字以内で作成することを指示すると、限られた語数で何を伝えればよいかを真剣に考え、記事を書いていた。また、宮崎日日新聞社編集委員の小川清一郎氏に講師として来校いただき、指導してもらった。授業では、新聞作成の手順と方法を説明され、作成した新聞への助言をいただいた。生徒たちは、特に見出しの付け方に興味をもっていた。作成した新聞は200部印刷し、文化祭当日に発行した。(資料2, 3)他学年の生徒や教師も興味深く読んでいた。



(資料2：作成した新聞①)



(資料 3 : 作成した新聞②)

(6) NIE 推進協議会を活用した講演

NIE 実践校として、NIE 推進協議会を活用した講演を実施した。(写真 4)



(写真 4 : 浜野氏による講演の様子)

講師として、宮崎県 NIE 推進協議会会長であり、経済ジャーナリストの浜野崇好氏を招き、キャリア教育に関わる話をしていただいた。浜野氏はマスコミの記者としての経験から、取材から報道までを詳しく説明された。

NIE を進める際には、新聞を用いた授業だけでなく、情報を発信する側の立場での知識も必要であると考えている。今回の講演は、生徒に NIE を理解させる上で、とても効果的であった。

4 実践の成果と課題

今年度は、NIE 全国大会長野大会に参加することもでき、これまでの NIE 実践の中でも多くのことに取り組むことができた。以下に、今

年度の実践から得た成果と課題を示す。

(1) 成果

○ 生徒に、新聞を読んで感想を述べさせたり、新聞を作成させたりすることで、購読している新聞を多様に活用することができた。

○ 複数の記事を用いて、話し合い活動をさせることは、多様な意見に触れるため、生徒の思考の幅を広げることができる。

○ NIE 推進協議会に 2 名の講師を派遣していただいた。NIE 推進協議会を積極的に活用することで、NIE の活動の幅が広がる。

○ 新聞作成を、生徒に何度も取り組ませることで紙面も充実する。今年度作成した新聞は、とても充実したものができた。

(2) 課題

● 2 年間の NIE 実践で、他の教師にも新聞を活用した授業や活動が少しずつ広がっているが、まだ浸透していない。

● NIE 推進協議会を活用することができたが、日程調整に苦慮した。規模の大きな学校になると、さらに難しくなることが予想されるため、気軽に活用できるシステム作りが必要である。